

令和元年度 科目名 ( 日本史A )

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次生以上で現代社会の学習を終えたもの(選択必修)

教科書 『高等学校 日本史A 新訂版』 清水書院

補助教材 『日本史B 用語集』 山川出版社

2 科目の目標

近現代史を中心とする日本の歴史の展開を、世界史的視野に立ち日本を取り巻く国際環境などと関連づけて考察させることにより、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3 評価規準(何を評価するか)

① 教科書の内容を理解し、基本的な語句や事項について理解できているか 【思考・判断】【知識・理解】

② 歴史的事項に興味をもち、意欲的に学ぼうとしているか 【関心・意欲・態度】

③ 地図や資料から必要な情報を読み取り、まとめることができるか 【技能・表現】

4 評価基準(どんな方法で評価するか)

- ・ 上記「評価規準」の①、③については、レポートとテストで評価する
- ・ 上記「評価規準」の②については、スクーリングやレポートの感想などから評価する

5 試験範囲と試験による評価基準

R1～R3の範囲で第1回試験を、R4～R6の範囲で第2回試験を実施する。試験内容はレポートの内容とほぼ同じものにする。

6 スクーリングの目標・内容・計画

生徒の質問に答えるとともに、興味・関心の高い設問について詳しく解説する。

R	項目	内容	教科書	時期
1	国際関係の変化と幕藩体制の動揺	産業、学問・思想、教育における近代の萌芽や、欧米諸国のアジア進出に着目し、幕藩体制動揺期の内外の情勢について理解する。	24-45	5月上旬
2	明治維新と近代国家の形成	文明開化などにみられる欧米文化の導入と、明治政府による諸制度の改革に伴う社会・文化の変化に着目し、近代国家の形成過程について理解する。	46-69	5月下旬
3	国際関係の推移と近代産業の成立	・自由民権運動から政党結成の流れを理解する。 ・日清・日露の両戦争を比較し、2つの戦争が日本にもたらしたものは何かを考える。	70-87	6月中旬
4	近代産業の成立と第一次世界大戦	・日本の植民地経営について知り、朝鮮との関係性についての理解を深める。 ・第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。	88-113	7月中旬
5	政党政治の展開と軍部の台頭	・政党政治のはじまりから終焉までの流れを理解する。 ・軍部の台頭と満州経営について知る。	114-146	8月中旬
6	日中戦争・太平洋戦争 第二次世界大戦後の日本と世界	・日中戦争から太平洋戦争にいたる流れを理解する。 ・戦後、日本が復興し国際社会に復帰していく過程を理解する。 ・現在の日本と世界のつながりを理解し、日本が果たすべき役割を考える。	147-194	9月中旬